

中部運輸局観光部

平成30年8月24日 14時00分発表



<お問い合わせ先>

中部運輸局観光部 金子、加納、板津

TEL : 052-952-8045

飛騨地域における観光資源のアクセス改善のための実証事業を開始

～訪日外客訪問先の分散化・多様化に向けタクシー等の活用方策を検討～

飛騨地域では、訪日外国人旅行者等が高山市の“古い町並”や白川郷に集中しており、高山市の濃飛バスセンターから白川郷にアクセスする乗合バスの混雑や白川郷の受入環境等の問題が顕在化しています。このため、外国人旅行者等の域内訪問先の分散化・多様化が喫緊の課題となっています。

一方、飛騨地域には魅力的な観光スポットが数多く存在しますが、これらに対する外国人旅行者の認知度は低く、アクセスが困難なスポットも数多く見受けられます。

このような状況の下、中部運輸局では、飛騨地域を訪れる外国人旅行者の周遊性を向上させ、訪問先の分散・多様化を図るとともに、域内での滞在時間を延長して消費の拡大に繋げることを目的とする実証事業を実施いたします。

本実証事業では、観光関係基礎データの整理や外国人旅行者等関係者へのヒアリング等の基礎調査の結果を踏まえ、タクシーや通訳案内士等を活用したモデルコースをターゲット国別に複数策定し、モニター調査を実施することとしています。（別添資料参照）

なお、外国人モニター調査の実施に際しましては、改めて詳細をお知らせいたします。

飛騨地域における観光資源のアクセス改善のための実証事業の概要 (1)

訪日外国人旅行者の訪問先の分散化・多様化に向け、二次交通や多言語対応等の課題を把握するとともに、移動利便性及び周遊性の向上の観点から、タクシーや通訳案内士の活用方策等を検討する。

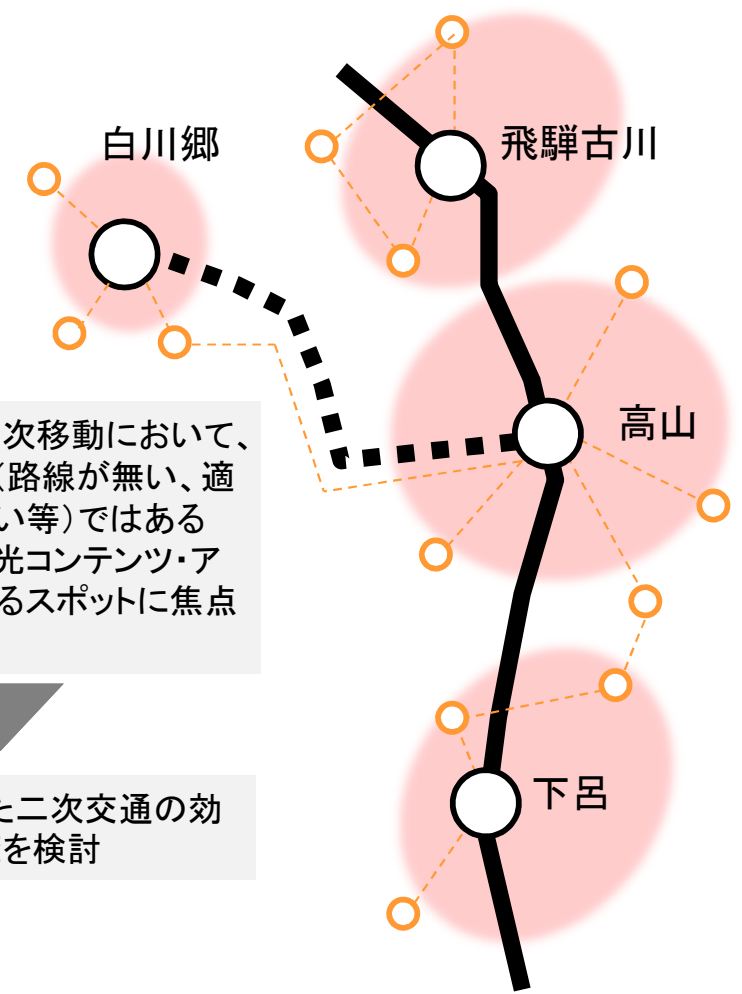
○ 課題の背景

- ・訪日外国人旅行者が高山市内の古い町並や白川郷に集中し、周辺の交通渋滞、駐車場不足の問題が顕在化。
- ・潜在的な魅力スポットの認知度が低く、アクセスもしにくい。
- ・訪日外国人が団体旅行から個人旅行にシフトする中、個人旅行者が使いやすい二次交通の整備が必要。

○ 目指すべき姿

- ・訪日外国人旅行者の周遊性の向上、訪問先の分散化・多様化により、飛騨地域の様々な場所への訪問を活性化させ、滞在時間及び消費の拡大を目指す。
- ・利便性の高い二次交通を整備することによる周遊性の向上。
- ・タクシーや通訳案内士を活用し、潜在的な魅力スポットへの訪問を可能にし、付加価値の高い着地型観光モデルを構築し商品化。

飛騨地域の拠点となる、高山駅、飛騨古川駅、下呂駅、白川郷までのアクセスは既存の公共交通にて確立されている



各拠点からの二次移動において、アクセスが困難(路線が無い、適切なダイヤが無い等)ではあるが、魅力的な観光コンテンツ・アクティビティがあるスポットに焦点を当ててPR

タクシーを含めた二次交通の効果的な活用方策を検討

○ 事業実施方針

■ 基礎調査

- ・基礎データ整理（RESAS、SNS の解析等）
- ・二次交通の現状の整理
- ・飛騨地域の観光資源の洗い出し、各資源における外国人受入対応状況の整理
- ・外国人旅行者に対するヒアリング調査
→飛騨地域の認知度・訪問意向・潜在ニーズを持つ観光資源の特定等
- ・通訳案内士に対するヒアリング調査
- ・海外におけるアクティビティツアーの事例調査
- ・調査結果、ヒアリング結果の分析
→ターゲット絞り込み、マーケティング戦略策定、タクシー及び通訳案内士の活用方策の検討

■ 外国人モニター調査

- ・モデルコースの策定
- ・外国人モニター調査

■ 検討体制の構築

- ・多様な関係者による検討会の開催（4回）

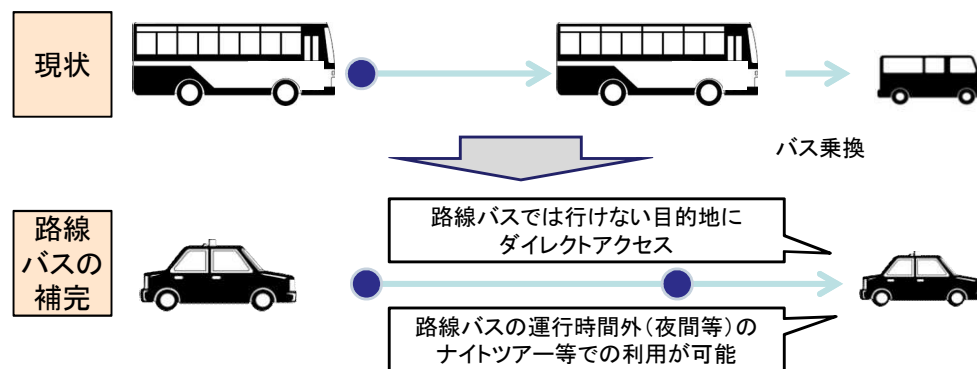
■ 効果検証及び今後の対応方策の検討

- ・外国人モニター調査結果の分析
- ・商品設計の妥当性及び採算性の検証
- ・ターゲット別に求められる商品内容の整理
- ・アクセス改善のための課題整理

○ 調査結果を踏まえた将来イメージ

■ 二次交通の補完関係の構築

二次交通のそれぞれの特性を踏まえ、利用者の目的や用途に応じて最適な交通モードを選択出来る仕組みを構築し、地域・事業者間で認識を共有。



■ 情報ポータル・ワンストップ窓口等の構築

個人旅行者ニーズに関する情報を収集し、周遊観光スポットや二次交通手段などニーズに最適な情報を発信するとともに、「予約」・「決済」のサービスが一元的に行える体系を構築。（利用者利便性の向上）

この体系の主体となる可能性がある“地域DMO”等の観光事業関係者や、情報発信・予約の場面が想定される宿泊施設等の意見を踏まえ、情報ポータル・ワンストップ窓口等の構築を目指す。